

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：科学技術を考える - 人文学の視点から ILAS Seminar :Thinking Science and Technology - Perspective from Humanities			担当者所属 職名・氏名	人文科学研究所 教授 瀬戸口 明久		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	12(8)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	人文科学研究所本館330号室(ただし教員が予約する必要あり) (本部構内)			使用言語	日本語
キーワード	科学史 / 科学哲学 / 統計学						
[授業の概要・目的]							
<p>科学技術の意味について人文学の視点から考える分野として、科学史、科学哲学がある。このセミナーでは、科学哲学者イアン・ハッキングが統計学の歴史について論じた『偶然を飼いならす』(1990年)を丁寧に読んでいく。</p> <p>現代社会は、数字であふれている。人口、失業率、自殺率などの社会データ、気温、気圧、地震などの自然データ。それらのデータにもとづくシミュレーションや予測も行われている。『偶然を飼いならす』は、19世紀における統計学の登場がいかなる世界をもたらしたのか、歴史的・哲学的な視点から考察した古典的な著作である。</p> <p>科学技術の意味について考えたい理系学生、科学の人文学に関心を持つ者、経済学や社会学などの社会科学を専攻する者など、幅広い分野からの参加を想定している。</p>							
[到達目標]							
<ul style="list-style-type: none"> - 一冊のテキストを読み、著者の主張を理解する。 - 人文学的な文章を読み解いて、論理的に表現することができるようになる。 							
[授業計画と内容]							
<p>第1回 ガイダンス セミナーの概要、進め方について説明する。</p> <p>第2回～第14回 『偶然を飼いならす』を2章ずつ読み進めていく。 参加者による内容紹介、議論という形式で進める。 目次は以下の通り。</p> <p>第1章 本書の概要 第2章 必然性の教義 第3章 アマチュアは公表し、官僚は隠匿する 第4章 統計局 第5章 理性の甘美な専制 第6章 病気の数量 第7章 科学の穀倉 第8章 自殺は一種の狂気である 第9章 立法の哲学の経験的基礎 第10章 信憑性がなく、詳細も分からず、統制を欠いた、価値のない事実</p>							
ILASセミナー：科学技術を考える - 人文学の視点から(2)へ続く							

- 第11章 何対何を多数決とすべきか
- 第12章 大数の法則
- 第13章 兵士の胸囲
- 第14章 社会が犯罪を準備する
- 第15章 社会の天文学的概念化
- 第16章 社会の鉱物学的概念化
- 第17章 最も古い崇高さ
- 第18章 カッシーラのテーゼ
- 第19章 正常状態
- 第20章 宇宙的な諸力と同じくらいリアルな
- 第21章 統計法則の自律性
- 第22章 プロイセン統計学からの一挿話
- 第23章 偶然の宇宙

第15回 フィードバック

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

- セミナーに出席し、議論に参加する。担当章を紹介する。

【教科書】

イアン・ハッキング『偶然を飼いならす』（木鐸社、1999）（初回に利用する部分を配布するので、事前に購入する必要はない。）

【授業外学修（予習・復習）等】

- 参加者はテキストを読んでくる。
- 発表者はレジュメを作成する。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】